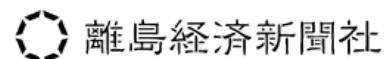


令和7年度媒体資料+共創カタログ

人と島をつなぎ 持続可能な世界をシマからつくる ritokei 共創メニュー



ritokei



2025年4月～9月版

離島経済新聞社は持続可能な島国の経済を “離島”から追求する民間NPOです

認定NPO法人離島経済新聞社は、417島・170市町村の「有人離島」を
「地球の上で、人と共に、心豊かに生きるヒントの詰まった宝島」と位置付け
お金で買えない価値と、資本主義社会との幸せな共創を目指し、
島と島国の可能性に賭けるステークホルダーと共に理想の離島経済を追求します。

図3 とうしょ
日本の島嶼構成

※国土交通省「日本の島嶼の構成」より(令和5年2月末時点)

(注)令和2年度国勢調査結果に基づく島の数を調査、内水面離島である沖島(滋賀県)を含む
(出典)国土地理院



島と人をつなぐ認定NPO法人離島経済新聞社の主要事業

1億人

3000万人

1000万人

300万人

100万人

非認知層



認知層



関係人口



信頼人口



住民

連携交流事業

シマビト大学
2025.5 START!

- 「島を想う」読者コミュニティと島々をつなぐ関係人口創出イベントの企画実行
- 産官学民の共創連携マッチングコーディネート
- 複数離島が連携する広域プロジェクトの中間支援 等

魅力化促進事業



- 島の担い手育成プログラム
- 行政と連携した地域づくり支援 等

普及啓発事業 (メディア事業)



- 島に学ぶフリーペーパー『季刊ritokei』の発行
- 有人離島専門ウェブメディア『ritokei』の発行
- 島と親子をつなぐ『シマ育コミュニティ』の発行
- 書籍『世界がかわるシマ思考—離島に学ぶ、生きるすべ』の発行
- 他媒体を通じた時給啓発
- 講演を通じた普及啓発



災害復興事業

災害や有事に備え、全国の「こども食堂」などと連携した地域防災の強化や、ritokei制作ネットワークを活用した災害時の広域連携ネットワークの構築を企画

リトケイに集まるのは「シマを大切に想う関係人口」

リトケイの強みは2010年より育んできた専門知識とネットワーク

不特定多数ではなく「島を知りたい」「つながりたい」「支えたい」「良くしたい」層が中心です

離島地域住民

「島をより良くしたい」
「他地域の事例を知りたい」

行政担当者

「島の住民を増やしたい」
「職員を採用したい」
「企業誘致をしたい」
「ふるさと納税を集めたい」

島の事業者

「商品やサービスを売りたい」
「スタッフを採用したい」

島の子どもたちや保護者

「友達がほしい」
「学校を残したい」
「子育て環境をよくしたい」



ritokei



媒体概要

フリーペーパー『季刊ritokei』
年4回発行（2月/5月/8月/11月）
平均1.5万部発行・全国321市区町村
1,338カ所に設置（168島含む）

『ウェブ ritokei』訪問者数3万人
公式Facebook フォロワー1.9万人
公式Twitter フォロワー9千人
※2024年9月現在

出身者 縁故者

「島の役に立ちたい」
「島の状況が知りたい」

UIターン 多拠点移住 希望者

「いつかは島に帰りたい」
「仕事を探している」
「二拠点居住先を探している」
「移住先を探している」
「離島留学に興味関心がある」

関係人口

「仕事で島に関わっている」
「島に貢献したい」
「連携できる島を探している」

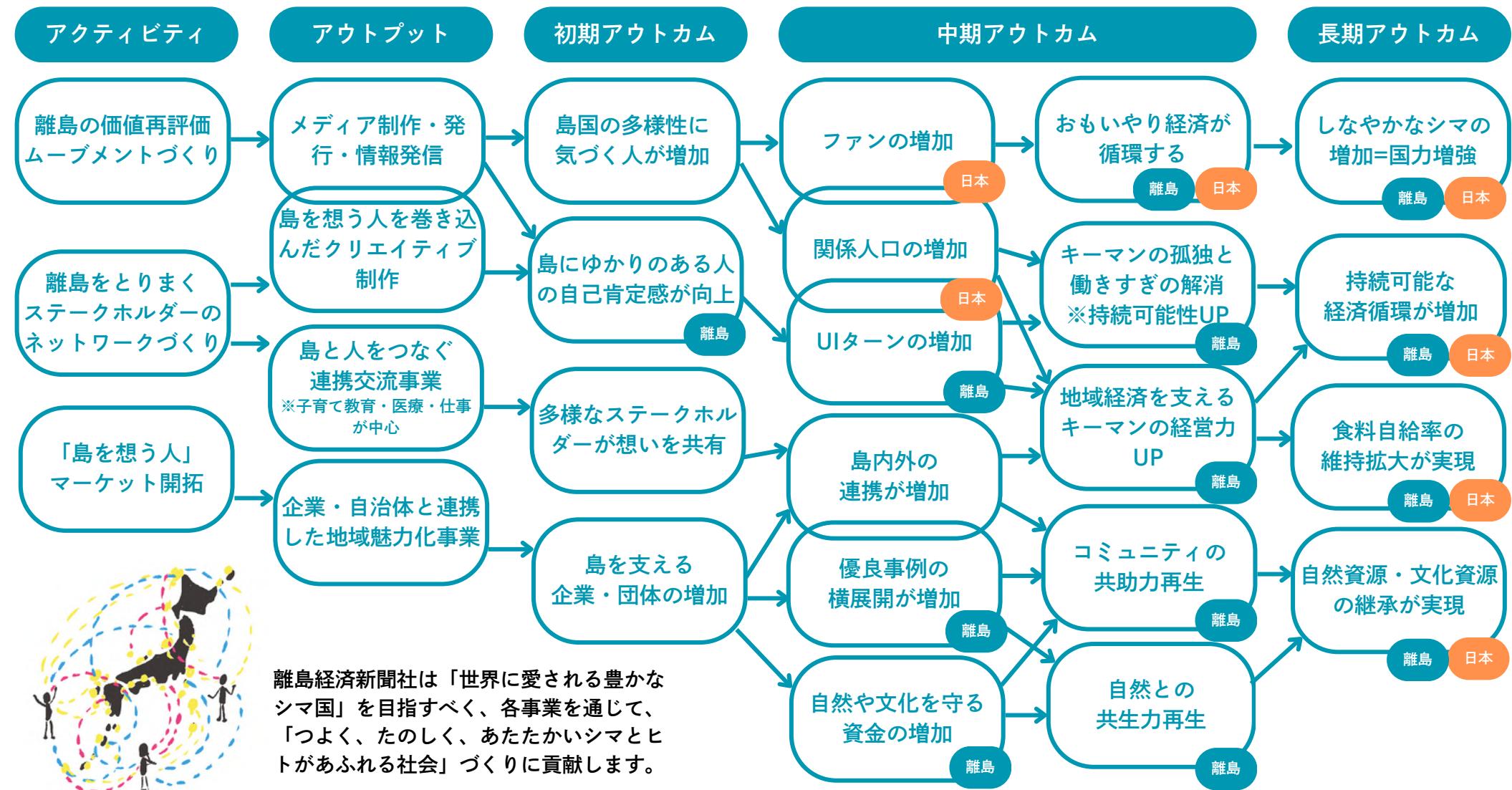
ファン

「島が大好きで通っている」
「次に訪れる島を探している」
「いつか島に暮らしてみたい」
「ローカルに興味がある」
「離島に興味がある」

興味関心層



リトケイが追求する「持続可能な離島経済」は日本を 「つよく、たのしく、あたたかいシマとヒトがあふれる社会」にかえる



サステナブル、リジェネラティブ、SDGs、ESG etc..... 持続可能な世界をつくるヒントを離島のシマから『ritokei』に集め 豊かなバタフライエフェクトを起こします

「2030年の社会デザインに共通する5つの概念」とも合致

- 1.自然と人との関わりが強くなり、生活の中に自然が当たり前にある
- 2.カーボンニュートラルやネイチャー・ポジティブという制約の中で輸入や輸送を前提としない食のあり方や自然との関わり方が問われる
- 3.小規模（地域）自立分散型の社会が基本となり、その域内でものやコトが循環し、域外に分散している社会とゆるやかにつながる
- 4.未病や健康が大事にされる
- 5.社会は小規模自立分散型となり、都会とローカルの境界は希薄になり、ローカルが主役の時代に



『2030年の未来マーケティング』(石田秀輝+Food Up Island) より

離島から学べる「豊かな世界」をつくるための要素

1つも欠かせない 5大必須テーマ	テーマ横断で求められる 4大課題	豊かな世界に必要な 3つの経済	活用すべき 2つの知恵	追い求めるべき 1つのゴール
1.交通 2.仕事 3.住まい 4.子育て教育 5.医療介護	テーマ横断で求められる 4大課題 1.人材不足 2.財源不足 3.情報不足 4.ノウハウ不足	豊かな世界に必要な 3つの経済 1.交換経済 2.互助経済 3.贈与経済	活用すべき 2つの知恵 1.なつかしい 知恵と技術 2.あたらしい 知恵と技術	わくわくときどき 心豊かに暮らせる 持続可能な島国へ

島国の可能性を引き出すキーワードは「シマ思考」

2024年4月『ritokei』のまとめ本『世界がかわるシマ思考-離島に学ぶ、生きるすべ』発売。
「シマ=人と人が支え合うコミュニティ」単位で、自分や社会を心豊かにかえる「シマ思考」を提唱しています。



養老孟司先生も推薦！



迫る南海トラフ巨大地震の脅威。
「そのとき大事になるのは、水・エネルギー・食糧。大震災の後に世界はシマになる」

地球上の地震の20%が起きるという日本列島。養老孟司先生も、「物流が途絶えるほどの災害が起こった際には、支え合い自給できる大きさのコミュニティ（シマ）をつくり生きのびる必要がある」と「シマ」の重要性を解きます。

各業界が「シマ思考」に注目！

教育・医療・社会連帯etc...
さまざまな業界や人づくりの現場で
「シマ思考」が採用されています

日経Kids +2025
「今、私たちにはシマ思考が必要だ！」



『日経Kids+ 2025 大人の探究心が育てる子どもの知的好奇心』では8ページに渡って特集。地域で支え合い、自然と共に生きる知恵や工夫が詰まった「シマ思考」や、人や自然との関わりの中で子どもの人間力を養う「シマ育」に教育業界も注目しています。

「シマ思考をもとにこれからの社会の自治と協同を考える」日本社会連帯機構



協同労働と社会連帯活動を結ぶ日本社会連帯機構20周年の節目にも、「シマ思考」で「これからの社会の自治と協同を考える」シンポジウムが行われ、「協同の発見」を通じて全会員に共有されました。

世界がかわる シマ思考

離島に学ぶ、生きるすべ

「シマから考える！日本の未来」
筑波大学附属高等学校 特別講座



筑波大学附属高校では『ritokei』や『世界がかわるシマ思考』をもとに特別講座を開催。「持続可能な観光産業のために何をすべきか」等、議論が交わされています。

「医療もかわるシマ思考。シマには、プライマリ・ケアの未来の姿がある」プライマリケア学会

2025年6月に開催されるプライマリケア学会では、あらゆる地域、医療機関のプライマリ・ケア従事者にとって学びになる視点として「シマ思考×医療」をテーマにしたシンポジウムが行われます。

2010年創刊。島に学ぶウェブメディア

『ritokei』

- ・ 読者数平均3万人／月
- ・ 連動する公式SNSフォロワー（Facebook 1万9,000人／X 9,000人／Instagram 2,000人）
- ・ 中心読者：30～50代男女、首都圏および都市圏在住者、離島在住者
- ・ 島のクリエイターと連携し制作（離島経済に貢献）



主要コンテンツ

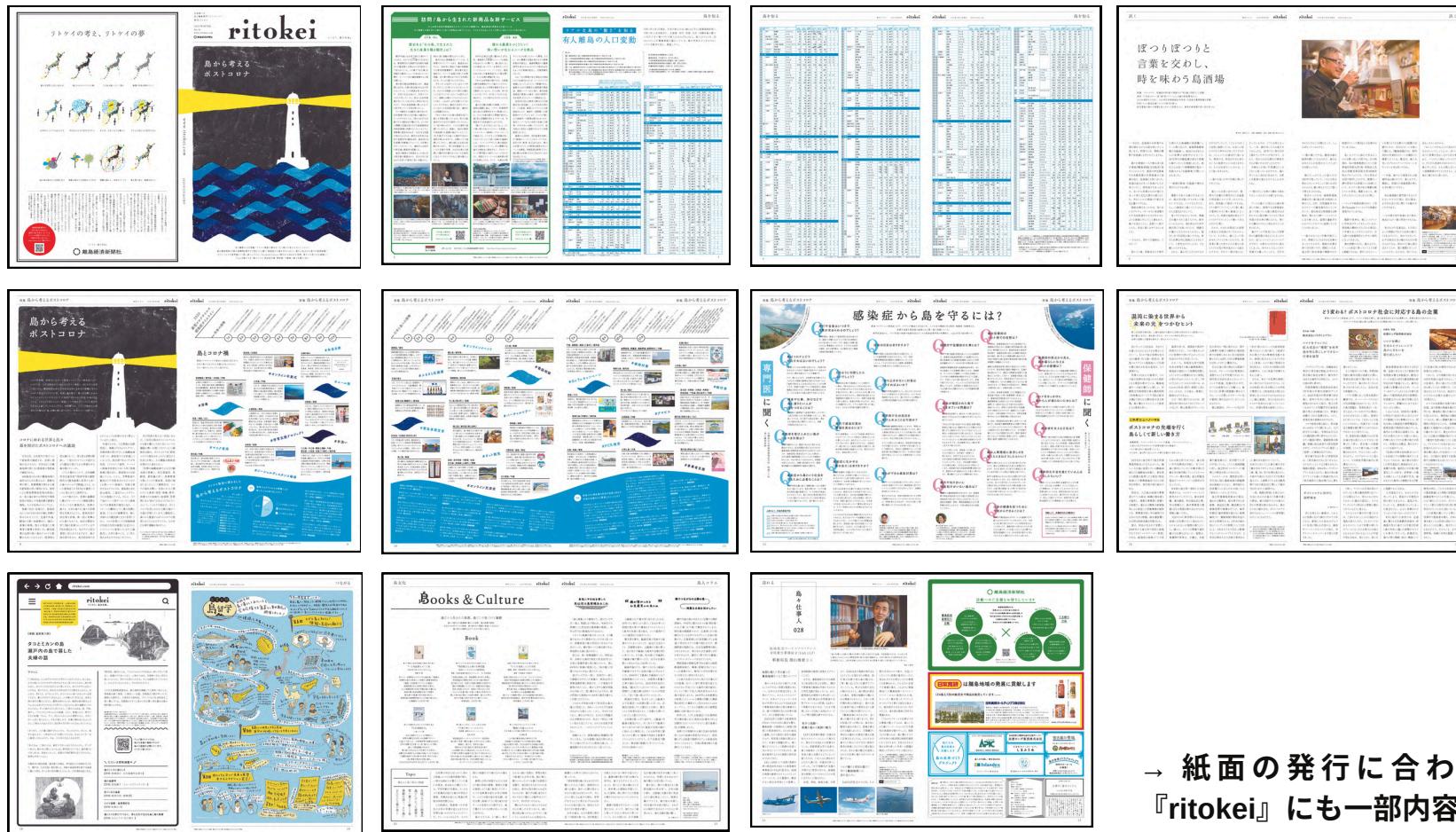
- ・ フリーペーパー『季刊ritokei』
- ・ 特集記事（一部）
- ・ イベントレポート
- ・ 募集情報
- ・ 寄稿コラム
- ・ 有人離島一覧
- ・ 特別企画

グッドデザイン賞も受賞。168島に設置される信頼メディア『季刊ritokey』

『季刊ritokey』

「島に、学ぼう」を合言葉に、持続可能な社会をつくるために知っておきたい特集・企画を制作。信頼の厚い唯一無二のメディアです。

- 平均1.5~2万部発行
- 「持続可能」「学び」を軸に半歩先のヒントを提供
- 島のクリエイターと連携（離島経済に貢献）
- 全国322市区町村 1,341カ所 ※島での設置数は168島
- 教育機関に無償提供



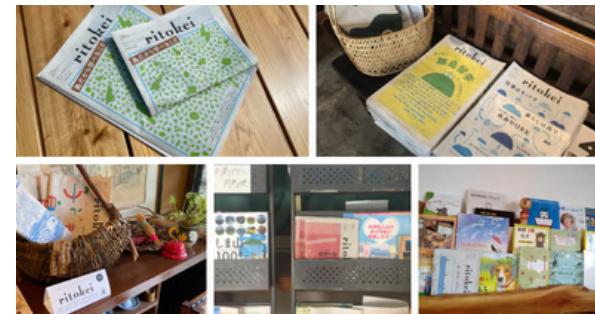
→ 紙面の発行に合わせてウェブ
『ritokey』にも一部内容を展開

「島を想う人」に届く『季刊ritohei』の独自流通網

1

公式設置ポイント

「島を想う人」が存在する拠点からのお申し込み制にこだわり拡大した公式設置ポイントから毎号1.5万～2万部を配布



全国322市区町村 1,341カ所
※島での設置数は168島

飲食店・宿泊施設・役場・書店・学校・港・定期船の船内など「島を想う関係人口」のタッチポイントに設置

2

教材活用

島と島国の未来を担い手を育てる学校（約80校）へ積極的に配布。教材としての活用も！



『季刊ritohei』を毎号活用し、島を学ぶ筑波大学附属高校（東京都）の生徒たち

3

信頼ネットワーク配布

2025年5月号よりサポーター会員による「おすそわけ配布」スタート！毎号届く「3部」のうち「2部」を興味関心の近い人へ手渡しいただきます。

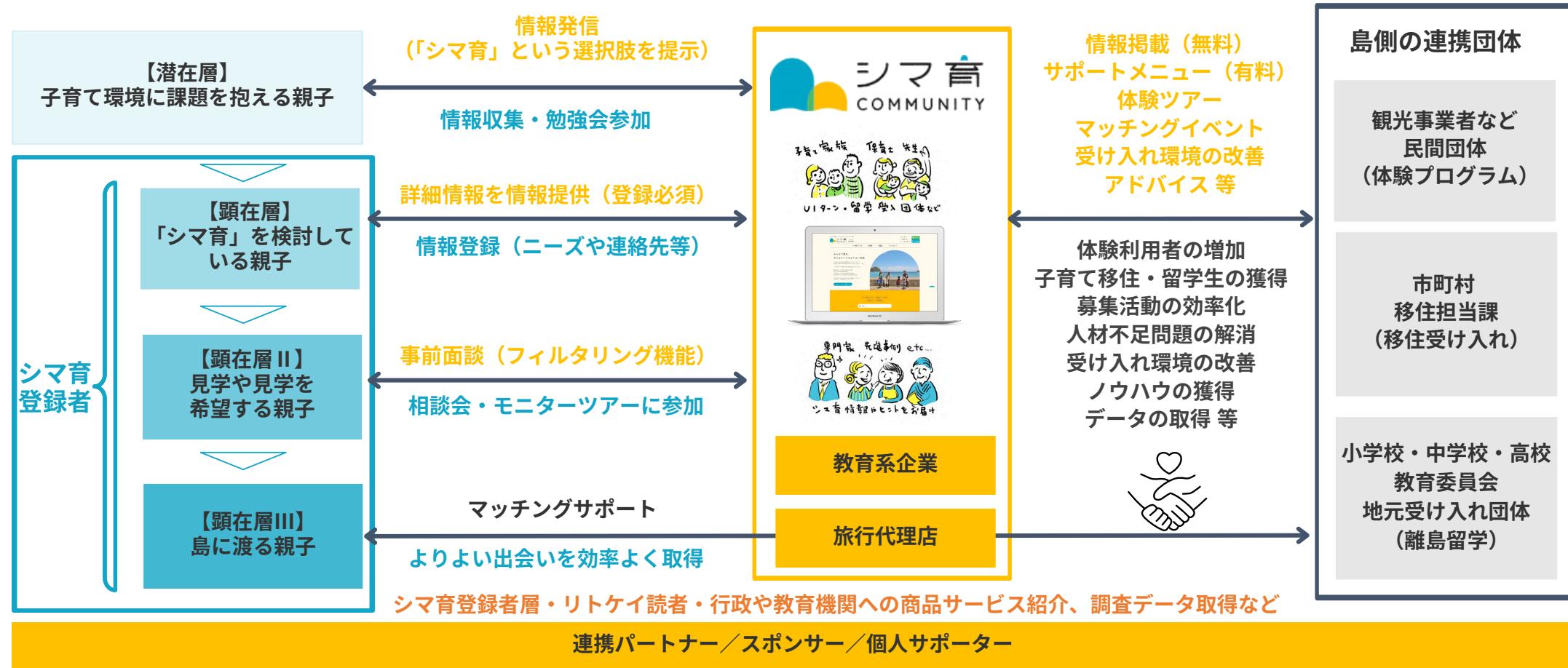


2025年4月時点で約300人の個人サポーターが『ritohei』の拡大メンバーとして活躍！

島と親子をつなぐ中間支援メディア

『シマ育コミュニティ』

シマ育興味関心層（初年度は『ritokei』読者中心）と、島の受け入れ団体・行政・教育委員会等がより良い出会いを叶えられるための中間支援に特化した『ritokei』の姉妹メディア。



広告掲載

マスメディアとは異なる独自のネットワークで「シマ」を軸にした信頼社会に届く訴求が可能です。



離島住民向けの勉強会の参加者募集広告／勉強会レポート掲載



大手通信会社との共同企画プロジェクトの紹介記事およびレポートを記事広告として掲載



自動車メーカーの導入事例紹介として、離島地域のキーマンとの対談を行い、記事広告として掲載

ウェブ版『ritokei』

**【素材制作無し】30万円／1ページ
【素材制作有り】45万円／1ページ**

1ページあたり1,600～5,000文字程度、写真5～20点程度の記事を掲載いたします。原稿素材をご提供いただく場合は【素材制作無し】の金額にて掲載が可能です。いずれもリトケイ公式SNSからの拡散を行わせていただきます。

フリーぺーぺー版『季刊ritokei』

**120万円／2ページ
70万円／1ページ
40万円／1/2ページ**

1ページあたり1,600～2,000文字程度、写真5～20点程度の記事を掲載いたします。フリーぺーぺー版の広告はすべてリトケイ編集部にて広告素材を制作いたします。※取材等にかかる旅費交通費や特別なデザインを施す場合には制作費を別途お見積りとさせていただきます。

「特集まるごと」「企画」をスポンサー

教育・文化・環境・産業・食・医療・健康など島に学ぶ特集や企画のスポンサーを大募集。
離島地域における調査や、企業的好感度・認知度向上などにご活用いただけます。



例えば「子育て」をテーマにした特集をまるごとスポンサーいただいた場合、専門家インタビューや離島の先端事例取材に立ち会っていただくことも可能。メディアに掲載されない取材情報も共有いたします。



信頼の厚い紙メディアと、広く世界に届く
ウェブメディアの両方に掲載いたします



特集・企画スポンサー

**特集まるごとスポンサー (10P) 480万円～
企画スポンサー 60万円～／1ページ**

対象ページに企業ロゴやインフォメーション情報
を掲載いたします。

タイアップ記事掲載



有人離島専門メディア『ritokei』（ウェブ版／フリーペーパー版）や『シマ育コミュニティ』にて、タイアップ記事を掲載いただけるメニュー。

**ウェブ版（1P） 30万円～
フリーペーパー版（1P） 70万～**

『季刊ritokei』 同梱



チラシやパンフレットを、有人離島専門メディア『ritokei』（フリーペーパー版）の公式設置ポイントに設置いただけます。

**配布数に応じて御見積
※1カ所あたり100～500円**

クリエイティブ制作



デザイン、編集、ライティング、スチール、動画などのクリエイティブ制作を発注いただけます。案件毎に最適な離島在住クリエイターと連携し成果物を納品します。

**例) HP制作（10P） 120万円～
離島でのドローン撮影 10万円～**

講演・勉強会講師



全国の有人離島情報に精通するメンバーを講師として派遣。「島に学ぶ」をテーマにした講演はもちろん、ご希望のテーマに合わせた勉強会を開催します。

**ご希望テーマでのオンライン勉強会
(1.5h程度) 30万円～**

視察コーディネート



ご希望に合わせて視察をコーディネートいたします。通常、視察の受け入れを行っていない島でも、リトケイの仲介により現地キーマンとの意見交換が可能。

**例) 2泊3日 50万+同行者旅費交通費
※内容によって応相談**

離島ヒアリング



離島地域のキーマンへのオンラインヒアリングを調整します。商品・サービス開発のためのヒアリング等でも、リトケイの仲介により、適切な島とキーマンをおつなぎします。

1名あたり 10万円～

オンラインセミナー開催



島～人、企業～島がつながるためのオンラインセミナーを開催します。参加者は離島地域の住民や、離島ファンなど『ritokei』読者への呼びかけにより、「島への関係人口層」に向けた集客も可能です。

セミナー開催 30万円～

※募集告知やレポートは別途

読者アンケート／デプスインタビュー



『ritokei』読者層や離島地域住民を対象に、ご希望のテーマでアンケートやデプスインタビューを実施いたします。シマ育関連では、離島留学に興味のある親子層に直接アンケートを取ることもできます。

10名へのインタビュー 50万～

リサーチデータ提供



ご希望のテーマにて、離島地域に関するリサーチデータを作成・提供いたします。一般的なデータに加え、独自調査とネットワークをもとにしたマッチングデータや、各種データの作成も可能です。

30万円～

マッチングサポート



離島地域～企業、離島地域～専門家など、ご希望に応じたマッチングサポートを行います。リサーチデータの提供やデプスインタビューとの組み合わせにより、より効果的なマッチングを行うことができます。

内容により御見積

企業～自治体連携マッチング



企業が保有するソリューションやサービスと、活用を希望する離島自治体（170市町村）とのマッチングおよび、事業推進にかかる中間支援を担当します。

内容により御見積

共同イベントの実施



希望のテーマで共同イベントを実施します。イベント参加者に向けて直接取り組みをPRいただくことも可能です。

内容により御見積

寄付企画が付属する法人サポーター

月間1万円から、島を支えるリトケイを支えていただけませんか？

月間1万円 または年間12万円	月間5万円または 年間60万円	月間10万円または 年間120万円
各メディアに社名掲載 有人離島専門メディア『ritokei』 (ウェブ版／フリーペーパー版) 姉妹メディア『シマ育コミュニティ』	各メディアにロゴ（小）掲載 有人離島専門メディア『ritokei』 (ウェブ版／フリーペーパー版) 姉妹メディア『シマ育コミュニティ』	各メディアにロゴ（中）掲載 有人離島専門メディア『ritokei』 (ウェブ版／フリーペーパー版) 姉妹メディア『シマ育コミュニティ』
-	ご寄付を元にした 寄付企画（紙面1/2ページ）を制作 対象記事にサポーター表示を掲載	ご寄付を元にした 寄付企画（紙面1ページ）を制作 対象記事にサポーター表示を掲載
-	-	社内講演（ご希望者のみ） リトケイ代表が離島地域に貢献いただく意義 や、離島地域の概要・リトケイの取り組み・「シ マ思考」について紹介します
活動報告書・会報紙として『ritokei』を送付		
感謝状を送付		感謝状・読者の声を送付

※自社の取り組みや商品を紹介する企画のご掲載は「広告」としてお申し込みいただけます

ritokei 法人サポーター

年間500万円以上の法人様には『季刊ritokei』毎号に寄付企画（計8ページ分）を掲載

年間500万円

各メディアに社名掲載（最大）
有人離島専門メディア『ritokei』
(ウェブ版／フリーペーパー版)
姉妹メディア『シマ育コミュニティ』

ご寄付を元にした広告または紙面記事
(年4回計8ページ) を制作
対象記事にサポーター表示を掲載

社内講演（ご希望者のみ）

リトケイ代表が離島地域に貢献いただく意義や、
離島地域の概要・リトケイの取り組み・「シマ思
考」について紹介します

活動報告書・会報紙として『ritokei』を送付

感謝状を送付

※自社の取り組みや商品を紹介する企画のご掲載は
「広告」としてお申し込みいただけます



年間100万円以上をお預けくださる法人様へ

企業の社内講演等で、日本列島における離島の概要や、島の可能性を普及啓発すると共に、島々に貢献いただく意義をお伝えいたします。



リトケイ代表
鯨本が講演します！

各種メディアにロゴ・社名を掲載いたします

リトケイと共に島々を支え、持続可能な世界を島からつくる活動を推進する法人サポーターとして、各種メディアに表示させていただきます



『ritokei.com』
『シマ育コミュニティ』
(ウェブメディア)



『ritokei』（ウェブ版）

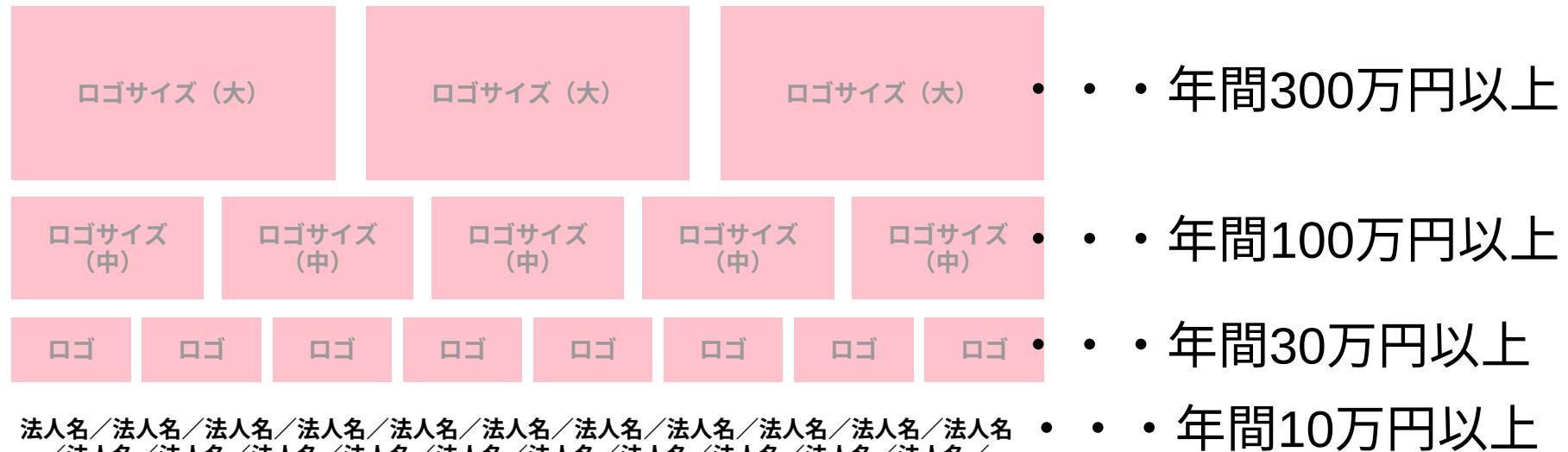


『季刊ritokei』（フリーぺーパー版）



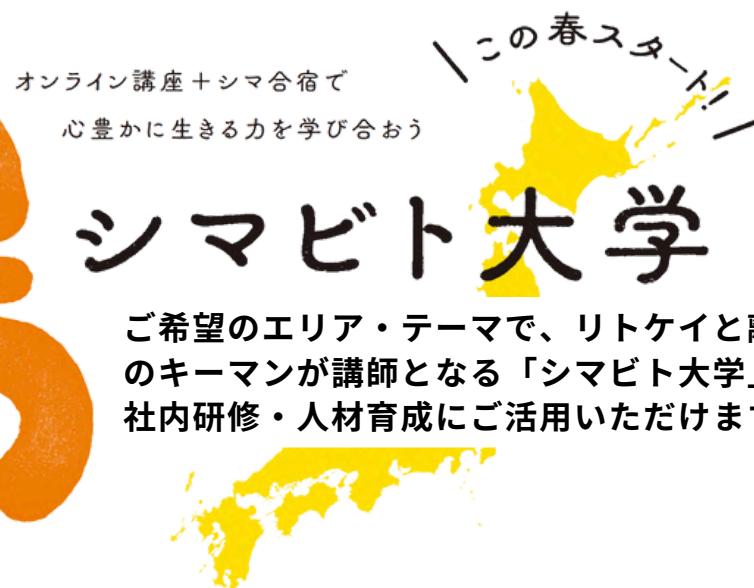
イベント配布資料 団体説明資料

2025年度よりセンター枠により掲載サイズ・位置が変更となります



※物品提供含む

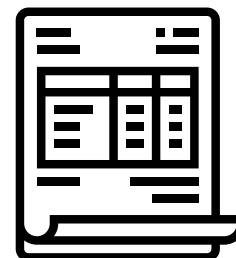
「シマビト大学」での視察・人材育成



ご要望をヒアリング



お見積り～お申し込み



オンライン講座 (3回程度)



シマ合宿 (現地で1泊2日)



【参考講座】 奄美大島で学ぶ

「ない」から生まれる創造力と生きる力
利他的生き残りの先進地域

基本のシマ思考



まずは「興味関心のあるテーマ」「気になる島」「研修を受ける人材」「研修により期待する変化」などをお伝えください。ご希望に沿う講座をご提案します（見積もり無料）。

【参考価格】

77,000円～／1名（+旅費交通費）

※研修費用のみ（交通・宿泊・飲食代等除く）

※10人以上を想定。少人数の場合は費用応相談

※指定の専門家や有識者の招聘も可能（別料金）

※旅行代理店を加えたツアー造成も可能

「未来のシマ共創会議」 2025年は10月開催 国交省スマートアイランド EXPOとコラボ開催！

2025年度は離島地域の首長が集まる国土交通省「スマートアイランドEXPO」との同日・同会場にて開催予定（10月開催。詳細日時調整中）。

島々との縁がつながる 共創スポンサー大募集

イベントを共に創る共創スポンサーに加え、特定テーマを共創いただくテーマスポンサーも募集します。

テーマ例) 「島国の防災」「リジェネラティブ産業」「離島経済」「子育て教育」「医療」等



テーマスポンサー特典

事前オンライン勉強会テーマの設定

本番トークセッション 本番ワークショップ

会場ブース 各メディアへのレポート掲載

共創スポンサー 30万円～ テーマスポンサー 300万円～

※物品提供・会場提供等でのご協賛も歓迎。詳細は担当者までお尋ねください。

ritokei 寄付企画

ご寄付をもとにした人材育成企画・ふるさと応援企画・
地域の魅力化プロジェクト等をご相談ください



稻盛経営哲学と同志の実践に学ぶ

フイロソフィ 経営実践塾横浜

離島在住者限定・
オンライン会員を募集

事例：
ご寄付をもとに
離島の経営者を育てる
オンライン塾を実現

稻森和夫氏が塾長となった「盛和塾」
で学んだ屋久島出身で半導体専門商
社PALTEKを創業した経営者・高橋忠
仁氏のご寄付により、離島の経営者
に向けて、経営哲学や実学を学ぶ場
をつくることができました。

人口減・高齢化・地球沸騰化の時代
離島から新たな可能性を広げる共創の輪を
一緒に広げてくださいませんか？

他にも多様な企画を共創いただけます。お気軽にお問合せください

npo@ritokei.com（代表メール）／050-3528-8392（代表）

団体名
所在地

特定非営利活動法人離島経済新聞社（2025年2月4日より認定NPO法人になりました）

【東京本部】〒155-0033 東京都世田谷区代田2-36-15 BONUS TRUCK LOUNGE

【九州編集室・流通センター】〒877-0023 大分県日田市大字田島161-3

【沖永良部島サテライト】〒891-9214 鹿児島県大島郡知名町知名2168-1

設立 2014年9月（2010年10月22日に株式会社離島経済新聞社として創業）

TEL /E-mail 050-3528-8392（代表）／npo@ritokei.com

理事 鯨本あつこ（多和田温子）/林信義/勝眞一郎/望月洋佑/森健輔/上月温子/木下秀鷹

監事 鈴木陽介

スタッフ数 15人（常勤・非常勤・パート含む）※離島在住者多数